

202 号

K-PURO® NEWS2025 年
(令和 7 年)
1/27 (月)

今月の言葉：

信頼される日本人になるために



プルメリア
気品

国際社会の中で、異なる文化を持つ人々と共に生きていくためには、まずお互いの国について知る必要があります。

日本人はアピールが下手だといわれますが、国としても、また個人としても、日本をもっと知ってもらう努力が求められます。

それは「日本の素晴らしさ」だけを主張することではありません。

広い視野を持ち、相手に対する敬意を忘れることなく、確かな道德心を養っていくことが、「世界の人々から信頼される日本人」となる上で大切なことではないでしょうか。

事件ファイル No. 202

空き巣が用いるマーキング

目印	意味
M	男性
W	女性
S	一人暮らし
F	ファミリー
学	学生
赤	赤ちゃんがいる
ル	留守
R	
SS	土日休み

目印	意味
○	侵入しやすい、購買・契約してくれる
白シール	
×	侵入できない、購買・契約してくれない
黒シール	
△	侵入できるかもしれない、購買・契約してくれるかもしれない
w8-20 (ル)	平日の8時から20時まで留守
20SW_9・21	20代一人暮らし女性、9時外出、21時帰宅

訪問販売員や空き巣犯、侵入窃盗を行う犯罪者などが住民に関する情報を仲間と共有するために表札や郵便受け、玄関ドア、電気メーターなどに目印をつける行為を「マーキング」と言います。

この目印から、住人の「家族構成」「留守の時間」などが分かることがあります。

インターネット上で報告されているマーキングの具体例には、次のようなものがあります。

このようなマーキングは仲間うちでの情報共有のために行われていることから、多くのケースでは第三者にはマーキングの目印の意味は分からないようになっているということに留意しておきましょう。

家の玄関にマーキングを見つけた場合は、マーキングが油性ペンで書かれていたなら除光液を、シールならシール剥がしを使ってマーキングを消すことが大切です。

マーキングにより玄関の表札などに直接傷がつけられるケースがあります。

このような場合には、補修材で補修しましょう。賃貸住宅の場合は、大家さんや管理会社に相談しましょう。

引っ越した先にマーキングがされている場合があります。

引っ越した先にマーキングと思われる文字や情報がある場合は、侵入窃盗に遭うリスクを低減させるため必ず消すようにしましょう。

空き巣の被害に遭わないためには、普段から高い防犯の意識を持つておくことも大切です。

家族構成が分かるような表札を出さない、近所にちょっとした買い物に出かけるときも必ず戸締まりをする、郵便受けに郵便物を溜めない、SNSに住居を不在にしているとわかるような投稿をしないといったことに注意することが重要です。

今月の良い話

藤原正彦氏の視点

欧米の民主主義を支えてきたものといえば、自由、平等、人権の精神です。しかし、私から見たらこれほど心許ないものはありません。

第一、ヨーロッパで最も差別が酷いのがフランス革命を起こした当のフランスなのです。アメリカやイギリスで生活してきた私ですが、フランスほどあからさまな差別を受けた国はありませんでした。

パリで不愉快な経験をした日本人は多いはずです。

自分の権利を押し通し、他人を誹謗中傷する自由ばかりが幅を利かせた社会に、平和や人々の安寧が訪れるはずはありません。

ヨーロッパの長い封建社会の中から人々がようやく勝ち取り、アメリカ独立宣言にも書き込まれた自由、平等、人権。

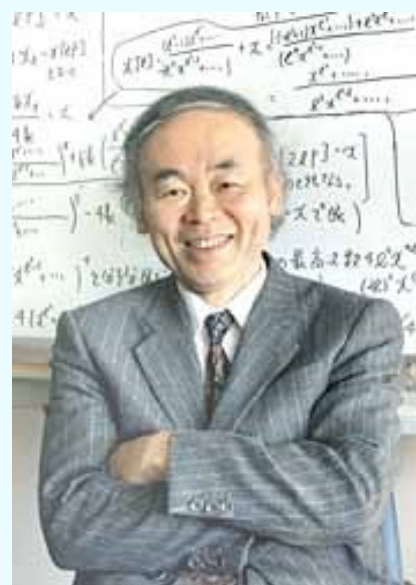
しかし、この思想はすでに賞味期限が来ているということを、世界の人々はいい加減自覚すべきだと思います。

これら三つの本質は「自由だ、平等だ、人権だ」と外に向かって叫び相手に要求するものです。

一方、日本の美風、例えば武士道精神の中心となる惻隠、もののあわれ、誠実、礼節といったものはすべて自分の内側に静かに語りかけるものなのです。

欧米の人権思想と日本人古来の美徳の根本的違いはここにこそあるのです。

自由だ、平等だ、人権だと外に向かって叫ぶことは、そのまま戦いの姿勢となり、自己を正当化するための論理が必ずそこには伴います。



欧米の植民地化にも、最近のロシアとウクライナの戦いにも、それぞれ論理があります。

しかし、自己を正当化する論理がぶつかり合う限り、戦争が終結を見ることはありません。

論理の衝突を防ぐ方法の一つ。

心の内に向かって静かに語りかけることであり、それは即ち日本古来の精神に立ち返ることなのです。

世界が混迷を極める中、日本人はまず誰よりもこの素晴らしい美質に気づき、それを取り戻すべく努めなくてははいけません。

世界が指針とすべき美質を根に備えていながら、いまだに根無し草状態にある日本人の姿は残念という他ありません。

今月の良い話

剣道家の真価が問われる時



中学時代に剣の道に分け入り、気がつけば早半世紀以上が経ちます。

修練を重ねるほどにこの道の奥深さ、険しさを痛感するいま、私の大切な拠り所となっているのが、父の遺してくれた教えです。

範士八段、当代一流の剣道家にして野田派二天一流第十七代でもあった父は、終生求道の歩みを止めることなく、その人生を通じて得た様々な学び、悟りを膨大な紙片に書き遺しました。

「剣道は、元来、相殺傷する技術を学ぶので、残忍殺伐な道のように思われるむきもあるが、決してそのようなものではなく、あくまで教育的、道徳的な体育であり、精神修養法である」

「剣道で、勝ちさえすればよいという試合や、それを目的とした稽古をしていたのでは決して本物にはなれない。目先の勝敗にとらわれず、基本に忠実な正しい稽古を地道に積み重ねる。稽古の本旨はここにあり、それが大成への大道である」

では、試合という目標のない剣道家たちが目指すべきものは何でしょうか。

私は剣の五徳、即ち正義、廉恥、勇武、礼節、謙譲だと考えます。

もちろんこれは、大会に出場する人も目指すべき普遍的な目標です。

最近の剣道は、父の説く「大成への大道」から外れ、勝ち負けにばかり目を向けがちなのが気掛かりです。大会などで華々しく活躍するのはごく一部の人であり、大半はそうした華やかな場とはあまり縁のないところで黙々と修業に励む“市井”の剣道家です。

父の生前、こんな諭しを受けました。

「お前は道場の門をくぐる時、『よし、やるぞ』と両刀手挟（たばさ）んで入ってくるが、それは逆だ。日常こそが本当の真剣勝負の場であり、道場から出て行く時にこそ気を引き締めなければならない」

確かに道場の中は、防具を着け、指導者の下で技術を修める場にすぎません。

剣道家としての真価が問われるのはまさに日常の場なのです。

同じく剣道を学んでいた兄は、大学時代に九州チャンピオンになるほどの腕前でしたが、就職後は竹刀を握る機会もなく、職場での苦しい胸中を父に打ち明けていたのを側で聞いたことがあります。

父は兄に「お前は剣道を学んできたのだろう」とたしなめ、こう諭しました。

「剣道の技量を伸ばすには、厳しい先生にかななければならない。職場も一緒だ。厳しい上司に打たれても、打たれても、『お願いします』と真摯に向かい続けなさい」

自分の弱さを隠すことなく、真剣に打たれること。打たれる度に反省し直すこと。

兄は父のアドバイスを心に努力を重ね、その後営業でトップの成績を収めました。

いくら剣道の修練を積んでも、それで生計を立てていくわけではありません。

大切なことは、道場で学んだ業を一般社会で実行していくこと。

修業から修行へと昇華していくことです。

プロ太の小話集 No. 202

作者不明

巨人の岡本選手の彼女がすごい剣幕で言う。

彼女 「和真さん、どうかしてよ。あなたの頭の悪さをバカにした笑い話が流行っているそうよ。

なんとか教養を身につけて、みんなをギャフンと言わせないと。そうねえ、まず本を読んだほうがいいわね。例えば、あなた、シェークスピアなんて読んだことがあるかしら？」

岡本 「え？そ、それは、もちろん読んだことあるさ。ただ作者が誰だったか、今思い出せないんだ」

日本は世界でも稀に見る、長い歴史を持つ国です。八世紀の初めに成立した「古事記」や「日本書紀」には、神話の時代から続く日本の歴史が綴られています。

そこには初代・神武天皇による建国の物語も収められています。その神武天皇の即位こそ、現代の「建国記念の日」の由来です。

明治時代になって太陽暦が採用されたときに「神武天皇の即位の日を西暦に換算すると、紀元前660年の2月11日に当たる」と算出されました。明治以来、2月11日は「紀元節」という名称の祝日とされ、日本の国の始まりを祝うお祭りが行われてきました。

この祝日は第二次世界大戦後の占領下で廃止されましたが、昭和41年に「国民の祝日に関する法律」が改正された際、改めて「建国記念の日」が設けられることになったのです。

はるか昔の「国の誕生」に思いをはせ、先人に対する感謝の気持ちを思い起こすのは大切なことでしょう。そうして養われる「国を愛する心」があつてこそ、「自分たちの世代も『よりよくなった世の中』を次の世代に伝えなければ」といった気持ちも芽生えてくるのではないのでしょうか。



団体企業 応援



加盟団体

RID2770 川口モーニングロータリークラブ

NPO法人 さいたま起業家協議会

公益社団法人 千葉東法人会

公益財団法人 モラロジー道德教育財団

<https://kawaguchi-morning.jp/>

<https://saitama-kk.org/>

<https://www.chibahojin.jp/>

https://www.moralogy.jp

事業所

商号 株式会社ケイプロ

屋号 都市防犯プランニング社

本社 埼玉県蕨市中央1-7-1シティタワー蕨

千葉支店 千葉県千葉市中央区新町1-20江澤ビル

<https://k-puro.co.jp/>

mail info@k-puro.co.jp

TEL 048-446-9445

TEL 043-243-6110

業務内容

機械警備

弊社のセキュリティプランにSECOM・ALSOK・CSPのインフラを使用

防犯カメラ

周辺環境・建物構造・人的要因を分析し、用途に沿ったカメラ選別と設置

メンテナンス

消防設備点検・消防設備工事の消防関連事業及びAED斡旋の管理業務